

平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	紙のタイムマシン活用事業
事業主体 (連絡先)	塩尻市 総務部庶務課施設管理係(0263-52-0601) 六井
事業区分	⑥産業振興、雇用拡大に関する事業 オその他個性を活かした産業振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	6, 212, 584円 (うち支援金: 4, 654, 000円)

事業内容

- 1 室内用古紙再生機 (ペーパーラボ) の活用
- 2 小中学生の社会見学の実施
- 3 障がい者自立支援団体による古紙再生機の運用
- 4 市民団体、企業との協働

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 1 月平均の製紙枚数は、前年度比 11.84%増加しており、紙資源の有効活用が図られた。
- 2 小中学生対象の社会見学を 10 回開催して、環境教育を実施したほか、最先端技術に触れる機会を提供することで、化学への興味関心の向上を図った。
- 3 古紙の回収、分別及び集積の業務を障害者就労施設に発注し、障がい者の自立支援に貢献した。
- 4 市民団体及び個人規模の見学会を 7 回開催して、環境意識の向上を図った。
- 5 再生紙の新たな活用方法、事業 PR として市民から提言のあったペーパークラフトを、企業との連携により作成した。
- 6 企業視察及び行政視察の受け入れを行い、本市の PR を行った。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

30年度で元気づくり支援金対象事業としての取り組みは終了するが、子どもを含む住民等の環境意識の向上、障がい者雇用の促進等に効果的な事業であったことを踏まえ、従前の事業内容を継続しつつ、また、ペーパークラフトを各種イベント等で活用し、更なる事業発展を図る。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある



【障がい者雇用：作業風景】

【目標・ねらい】

- ①紙資源の有効活用
- ②子どもの環境・理系教育
- ③障がい者雇用の促進
- ④市民等の環境意識向上
- ⑤塩尻市の PR

※自己評価 【A】

【理由】

小学生を中心とした見学会を開催することで、最先端技術への大きな驚きと、高い関心を得られた。